

令和3年12月24日

各位

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物学講座 合成生物学分野
助教候補者選考委員会委員長
中山 二郎

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物学講座 合成生物学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり生命機能科学部門 システム生物学講座 合成生物学分野 助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教（テニュアトラック）・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教は、大学院農学研究院・生命機能科学部門・システム生物学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府・生命機能科学専攻・システム生物学教育コース、および農学部・応用生物科学コース・応用生命化学分野を担当する教員となります。

システム生物学講座は、土壌環境微生物学、遺伝子制御学、細胞制御工学、合成生物学、発酵化学、微生物工学、生物機能デザイン、バイオプロセスデザイン、家蚕遺伝子資源学、植物遺伝子資源学、微生物遺伝子資源学分野の11分野からなります。

当該講座は、多様な生命現象をシステムとして捉え、生物資源の持つ普遍および特異機能の、集団、個体、細胞、分子（遺伝子、タンパク質、代謝物）レベルでの統合的理解と、それらのシステム制御による生物生産・環境保全・生体機能の高度化応用に関する理論構築と技術発展を目指して研究教育を推進しています。

特に、合成生物学分野では、複数種類の生体分子（遺伝子、タンパク質など）を組み合わせた人工遺伝子回路または合成代謝経路などの生体分子システムの設計と構築を通じて、生命現象を理解する基礎研究と有用物質生産などに対する応用研究およびそれらに関する教育を行っています。当該講座の研究教育目標を達成するために、当該職においては、合成生物学に加えて、生命科学、生物学などの見識を基礎とした以下の研究教育を重点的に展開することが不可欠であります。

- 1) システム生物学または最新の生命科学研究手法と合成生物学の融合研究
- 2) 合成代謝経路の設計・構築とそれを利用した有用物質生産
- 3) 人工遺伝子回路の設計・構築とそれを利用した生命現象の解明、および応用研究

今回採用する助教には、これらの分野のいずれかに関連する研究経験を有し、優れた業績の

ある方が望まれます。さらに、次世代のこれら研究分野のリーダーとなることができる人材を求めています。なお、本職は花井泰三教授と協力して、研究教育活動に従事していただきます。

3. 採用予定時期

令和4年4月1日 以降のなるべく早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有する（令和4年3月末日までに学位取得予定を含む）とともに上記の領域において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。さらに、旺盛な研究発信および国際的な共同研究活動を推進できる能力を有する方。

5. テニユアトラック期間およびテニユア審査

本職のテニユアトラック期間は、採用された日から令和9年3月31日までとなります。採用3年後に中間評価を行います。また、テニユアトラック期間終了前に行う最終審査において農学研究院助教あるいは准教授にふさわしいと判断された場合は、上記期間終了後に承継教員助教（任期なし）または承継教員准教授（任期なし）となります。なお、テニユアトラック期間は研究エフォート70%が保証されます。

6. 担当授業科目

本職は研究センターの職務ですが、本人の希望に基づき、下記の授業の一部を担当していただきます。

（1）大学院

・ 修士課程

（生命機能科学専攻システム生物工学教育コース）

合成生物学特論（分担）、システム生物工学特論（分担）、システム生物工学プロジェクト演習、システム生物工学演習第一・第二、システム生物工学特別研究第一・第二等

（国際コース）

修士論文研究 I・II、特別演習 I・II 等

・ 博士後期課程

（生命機能科学専攻システム生物工学教育コース）

システム生物工学特別実験、システム生物工学特別講究、システム生物工学特別演習等

（2）学部

（応用生物科学コース応用生命化学分野）

合成生物学（分担）、生物解析・機器分析法 I・II（分担）、分析化学実験、物理化学実験、応用生命科学実験、応用生命化学発展実験等

（国際コース）

Molecular Biology（分担）等

なお、英語による授業および研究指導も担当していただきます。

7. 提出書類（書類の（1）と（2）は下記 URL の様式を用いて作成願います）

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/template/>

(1) 略歴書 (Word ファイルおよび PDF ファイル)

(2) 業績目録 (新しい順に記載) (Word ファイルおよび PDF ファイル)

- I. 原著論文: 著者名 (本人の氏名に下線を、また責任著者に*を記すこと), 題名, 掲載雑誌名, 巻, 頁, 発行年, 最新の IF と被引用数を(i)査読付き雑誌, (ii) 査読なし雑誌, (iii)その他, で区分して記載すること
- II. 著書: 著者名, 題名, 発行所, 発行年
- III. 総説・解説等: 著者名, 題名, 掲載雑誌名, 巻, 頁, 発行年 (査読付および IF 付の雑誌に発表した場合には, 最後に記載すること)
- IV. 特許: 発明者名, 発明の名称, 特許番号もしくは特許出願番号, 特許登録もしくは特許出願年月
- V. 学会等での受賞: 受賞者名, 賞の名称, 受賞内容, 学会名, 受賞年月
- VI. 国際学会等招待講演: 講演者名, 講演題目, 講演学会名, 講演年月
- VII. 外部資金 (科研費を含む) 導入実績: 名称, 研究課題名, 期間, 金額, 代表・分担の別
- VIII. 教育実績: 担当授業・実習科目 等
- IX. 社会貢献等の実績
- X. その他: 資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負 (2, 000字程度) (Word ファイルおよび PDF ファイル)

(4) これまでの教育の概要と今後の教育に関する抱負 (1, 000字程度) (Word ファイルおよび PDF ファイル) ※教育実績のない場合は今後の抱負を記述すること。

(5) 主要論文の別刷りの PDF ファイル (5編以内)

(6) 推薦書

他薦の場合: 推薦書 (1 通) (PDF ファイル)。推薦者から合成生物学分野 助教候補者選考委員会選考委員長 中山 二郎 E-mail: nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp に直接メールで送付すること (メールのタイトルを『九大院・農・合成生物学分野助教推薦一応募者氏名』としてください)

自薦の場合: 自薦書 (PDF ファイル)、および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方 2 名の氏名および連絡先 (PDF ファイル)。上記 (1) ~ (5) の書類とともに Proselfにて提出すること (「11. 書類の提出」参照)

8. 面接等

審査の過程でプレゼンテーションおよび面接を行います。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。また、オンライン面接による選考を行う場合があります。

9. 勤務地

伊都キャンパス (福岡市西区元岡 7 4 4 番地)

10. 提出締切

令和 4 年 1 月 31 日 (月) 正午必着

九州大学ファイル共有システム (Proself) によるアップロード提出 (「1.1. 書類の提出」参照) : 上記 (1) ~ (6) の電子ファイルを提出締切日までにアップロードのこと

1.1. 書類の提出

九州大学ファイル共有システム (Proself) によるアップロード : 応募書類のデータは、下記提出フォルダにアップロードしてください (提出されるファイル名には氏名を明記願います)

https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/hjkMgAKJJEHAW_kBIH19UMvIB2pCvD13deZvPz9s7mcl

※ドラッグして「アップロード」をクリックするとファイルを提出いただけます (パスワード不要です)。複数の書類は個々の書類としてアップロードせず、必ず zip 形式等でまとめて提出してください。また、応募者はアップロードしたファイルを見ることができません。なお、合成生物学分野 助教候補者選考委員会選考委員長 中山 二郎 E-mail: nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp に、アップロード提出した旨をメール (メールのタイトルを『九大院・農・合成生物学分野助教応募一応募者氏名』としてください) で連絡すること

1.2. 問い合わせ

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物学講座
合成生物学分野 助教候補者選考委員会
選考委員長 中山 二郎
E-mail: nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp
電話 : 092-802-4737

1.3. 労働条件等について

- (1) 業務内容 : 九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間 : テニユアトラック期間は採用された日から令和9年3月31日まで
- (3) 試用期間 : 試用期間あり (3か月)
- (4) 就業場所 : 九州大学大学院農学研究院 (福岡市西区元岡744)
- (5) 就業時間, 休憩時間, 時間外労働 :
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます
- (6) 休日 : 土, 日, 祝日, 12/29~1/3
- (7) 賃金 : 年俸制 (令和2年4月1日導入の年俸制)

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>

なお, 年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します

- (8) 加入保険 : 雇用保険, 労災保険, 健康保険, 厚生年金
- (9) 募集者の氏名又は名称 : 九州大学大学院農学研究院

1.4. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法 (平成11年法律第78号) の精神に則り、教員の選考を行います
- (2) 九州大学では「障害者基本法 (昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律 (昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (平成25年法律第65号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います
- (3) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています
- (4) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>) を参照してください

- (5) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません
- (6) 労働条件、その他勤務に関する詳細についての問い合わせ先：
九州大学農学部等総務課庶務係 電話：092-802-4505

Recruitment of Assistant Professor
Faculty of Agriculture, Kyushu University

Outline:

Kyushu University is seeking an experienced individual with expertise in teaching and research for appointment as a tenure-track Assistant Professor in the Laboratory of Synthetic Biology, Division of Systems Bioengineering, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The goal of the Division of Systems Bioengineering is to deal diverse life phenomena as the system, to comprehend universal and specific functions of bioresources at molecular (genes, proteins, and metabolites), cellular, individual, and popular levels, and to establish a theory and develop a technology for application of bioproduction, environmental conservation, and biofunction by their system controls.

The laboratory of Synthetic Biology deals with education and research concerning elucidation of biological phenomena and bioproduction of useful compounds by designing and constructing biomolecular systems such as artificial gene circuits and synthetic metabolic pathways that combine multiple types of biomolecules (genes, proteins, etc.).

The duties and responsibilities of this position are as follows:

- 1) Integration of systems biology or the latest life science research methods with synthetic biology
- 2) Design and construction of synthetic metabolic pathways and production of useful compounds using them
- 3) Design and construction of artificial genetic circuits, elucidation of biological phenomena using these circuits, and applied research using them

For this recruitment, the applicant would be recruited with outstanding insight, excellent knowledge for research, and research achievement in areas 1) to 3) above. The successful candidate will cooperate with Professor Taizo Hanai for education and research.

1. Number of Positions Offered:

One tenure-track Assistant Professor

2. Institution:

Position affiliation:

Laboratory of Synthetic Biology, Division of Systems Bioengineering, Department of Bioscience and Biotechnology, Faculty of Agriculture.

The appointee will join the teaching staff of the Program of Agricultural Chemistry in the School of Agriculture and the Course of Systems Bioengineering in the Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences.

3. Date of Appointment:

April 1, 2022 (or as early as possible after this date)

4. Qualifications:

- (1) Ph.D. degree or expected to obtain Ph.D. degree until March 31, 2022
- (2) An outstanding research record in the above-mentioned fields.
- (3) Able to work with enthusiasm for student education and research guidance as undergraduate and graduate school teachers.
- (4) Able to publish outstanding actively and to proceed international cooperative researches.

5. Employment Duration:

Assistant Professor (Tenure-track): Full time, with a mandatory retirement age of 65.

Employment period is until March 31, 2027.

Possibility of extension after tenure track examination.

6. Educational Duties:

The successful candidate will be expected to teach some of the following subjects and supervise research activities at both the undergraduate and graduate levels in Japanese, with some of the teaching and supervision done in English.

(1) Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences

• Master's course

(Course of Systems Bioengineering)

Advanced in Systems Biology (Omnibus), Advanced in Synthetic Biology (Omnibus), Systems Bioengineering Project Research, Seminar in Systems Bioengineering I-II, Advanced Studies in Systems Bioengineering I-II, etc.

(International Course)

Master's Thesis Research I-II, Seminar in a Specified Field I-II, etc.

• Doctoral course

(Course of Systems Bioengineering)

Research Training on Systems Bioengineering, Advanced Topics on Systems Bioengineering, Tutorial on Systems Bioengineering, Seminar in Systems Bioengineering I-II, etc.

(2) Undergraduate School

(Program of Agricultural Chemistry, School of Agriculture)

Synthetic Biology (Omnibus), Bioanalysis · Instrumental Analysis I-II (Omnibus), Experiment of Analytical Chemistry, Experiment of Physical Chemistry, Laboratory Work in Basic Biological Chemistry, Advanced Experiment of Agricultural Chemistry, etc.

(International Course)

Molecular Biology (Omnibus), etc.

In charge as necessary

Class teaching and research guidance in Japanese are essential.

7. Required Documentation (provide all documents either in Japanese or English)

(1) Curriculum Vitae (Word and PDF files)

(2) List of Research Achievements (Word and PDF files)

I Original Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year, IF, and Number of Citations

(Applicant name should be underlined, and indicated by (*) just in case of a corresponding author)

(i) Peer-Reviewed Papers

(ii) Non-Peer-Reviewed Papers

(iii) Others

II Books: Name of Authors, Title, Name of Publisher, Pages, Published Year

III Review Papers: Name of Authors, Title, Journal Name, Volume, Pages, Published Year, IF (If any), Peer-reviewed (If any)

IV Patents and Variety Registration

V Academic Awards

VI Invited Lectures

VII List of Public and Private Research Grants Awarded: Name of Grant (Research Category)

VIII Educational Experiences

IX Philanthropic Activity

X Others

(3) Summary of your research activities and future research plans (approx. 1500 words) (Word and PDF files)

(4) Summary of your educational experience and aspirations for education in the future (approx. 750 words) (Word and PDF files)*If the applicant don't have educational experience, describe only aspirations for education in the future.

(5) PDF files of your most important publications (Within 5 articles)

(6) Recommendation letter or Self-recommendation letter

- Recommendation letter from reference (PDF file): Please send directly from the reference to e-mail, nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp (Please write "Recommendation for Assistant Prof. Synthetic Biology. Kyushu Univ-Applicant name" in the subject line of the email)

- Self-recommendation: A letter of self-recommendation, stating your suitability for the post together with the names of two references with the position, affiliation, and contact information (E-mail address) for your research activities and educational experience (Please submit it with other documents (1)-(5) via Proself file sharing system described below).

Note: The electric files from (1) to (6) should be uploaded to a Proself file sharing system of Kyushu University (see Section 10 below)

8. Interview:

Short-listed candidates may be invited for an interview held at Ito Campus or via a remote conference system. We do not support any expenses incurred, such as for travel or accommodation, to participate in the interview.

9. Application Deadline:

Completed applications must arrive at Kyushu University by the noon on January 31, 2022 (Japan time).

10. Contact and submission of the application documents to:

Prof. Jiro Nakayama
 Head, Selection Committee for Assistant Professor Candidates of Laboratory of Synthetic Biology,
 Faculty of Agriculture, Kyushu University,
 TEL: +81-92-802-4737
 E-mail: nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp

Submission by a File Sharing System (Proself): All documents required for submission should be compressed and uploaded via a Proself file sharing system (https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/hjkMgAKJJEHAW_kBIH19UMvIB2pCvD13deZvPz9s7mcl). When the upload is completed, please email Prof. Jiro Nakayama (nakayama@agr.kyushu-u.ac.jp). *Please write "Application for Assistant Prof. Synthetic Biology Kyushu Univ-Applicant name" in the subject line of the email.

11. Conditions of employment

(1) Salary and Benefits

Appointment level to be commensurate with qualifications and experience. Salary and benefits are specified in the Kyushu University regulations. For further information, visit the following university website (in Japanese) or apply to the General Affairs Section, Faculty of Agriculture:

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>

General Affairs Section, Faculty of Agriculture (E-mail: nossyomu@jimmu.kyushu-u.ac.jp)

(2) Probationary period: A three-month probationary period.

(3) Place of employment: Faculty of Agriculture, Kyushu University Ito campus (744 Motooka, Nishiku, Fukuoka, JAPAN).

(4) Working hours, Break time, Overtime: Based on Discretionary Labor System for professional work.

(5) Days off: Every Saturday and Sunday, national holidays, and New Year's holidays from December 29-January 3 in addition to an annual leave entitlement.

(6) Social Insurance

Employee shall enroll in: Employment insurance, Compensation Insurance, Health Insurance, Employees' pension insurance.

12. Additional Information:

(1) For more information about the Faculty of Agriculture, please visit the following website.

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/>

(2) Kyushu University is an equal opportunity employer and follows the principles of the Basic Act for Gender Equal Society (Act No.78 of 1999), Act on Employment Promotion etc. of Persons with Disabilities (Act No. 123 of 1960, revised in 2013), and the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013).

(3) The System of Employment of Faculty Members with Accompanying Spouse has been implemented in Kyushu University since July 18, 2017.